

札幌白石記念病院と患者さん & 地域の方々とのコミュニケーション誌

2014—

は~とわ~と♡

Heart Net♡

vol. 15

は~とわ~と♡

ご自由に
お持ちください

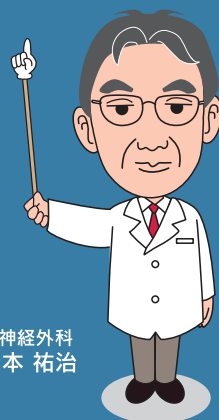
改めて知りたい
リハビリテーションのあれこれ

3階に急性期病棟オープン!

医師紹介

新しく赴任した先生を紹介します!

改めて知りたい リハビリテーションのあれこれ



脳神経外科
橋本 祐治

リハビリテーションの役割

リハビリテーションは、さまざまな原因で生じた身体や精神の機能障害に対する治療を担当します。当院では脳卒中を中心とした脳疾患が対象です。障害により生じた能力低下の改善を図ったり、代償手段の獲得を目指します。



▲リハビリ室の風景

リハビリテーションとは

リハビリテーション（以下、リハ）の語源には「名譽の回復」「破門の取り消し」という意味があり、「患者さんがその人らしく生きる権利を取り戻すこと」が本来の目的です。そのため、機能回復の訓練はリハの中心ですが、リハの果たす包括的役割の中では一部に過ぎません。

機能障害について

脳疾患で生じる機能障害には、運動障害、感覚障害、言語障害、嚥下障害などがあります。例えば一側の上下肢に麻痺（片麻

痺）を生じた場合では、寝返りや寝た状態からの起き上がり、立位や歩行では転倒の危険性が高まります。また、服を着替えたり、身体を洗うことや、麻痺が利き手側の場合では、字を書いたり、箸を使うなどが困難になることもあります。結果として、家庭や社会での生活に支障を来すことになります。そのためリハでは機能障害や能力低下の改善のみを考えるのではなく、患者さんが地域生活や社会生活を行う際に必要な対応も行っています。



▲長下肢装具を使用して歩行練習

リハビリテーションの区分

脳疾患のリハは発症後の時間により、急性期、回復期、生活期に分けられます。

急性期（発症～1ヶ月）のリハは安静による筋力低下を予防し、座る、立つなどの生活動作の訓練を行います。できるだけ早期に開始することが重要であり、当院でもほとんどの場合で入院当日からリハが始まります。

回復期（1ヶ月～半年）では家庭や社会

復帰を目指したより積極的、専門的なリハが行われます。

生活期（半年～）では自主訓練や介護保険を利用したリハに移行します。長期的な身体機能の維持には、周りの協力が重要です。

リハビリテーションの実際

安全への配慮を行い、最大の効果が得られる内容を計画し、実行することが大切です。歩行訓練などを行う理学療法士、日常動作訓練などを行う作業療法士、言語・嚥下訓練を行う言語聴覚士、リハ医のみにとどまらず、看護師、社会福祉士、技師・士、介護支援専門員の参加が重要です。

リハを行う場所は訓練室のみではなく、ベッドサイドや病棟で行われることも多く、看護師や介護士の参加やご家族の見学も欠かせません。リハには多くの職種が関わることで包括的なものとなり、患者さんの意欲向上にもつながると考えています。



▲電気刺激装置による麻痺側上肢の運動

通所リハビリテーション開設

通所リハビリテーション（デイケア）は、医療機関（病院、診療所）が老人保健施設で行われる介護保険サービスの一つです。通所介護（デイサービス）と異なり、生活機能向上のための機能訓練を専門スタッフが提供します。利用時間により数種類がありますが、当院では1時間以上2時間未満という短時間でリハビリテーションに特化したタイプを提供します。

病院との密な連携で、ご利用の方の生活の質を向上させるため何を行うべきかご本人・ご家族からのご希望に添って、脳卒中に詳しいリハビリテーションスタッフが対応します。

個別リハビリテーションを基盤とし、歩行や装具の相談、飲み込み（嚥下）に不安がある方など、専門的なサポートをさせていただきます。

現在は、理学療法を中心に歩行や装具の相談、家庭生活での筋力維持向上を目的とした運動指導を行っています。随時、業務拡大を予定しており、作業療法・言語療法も体制を整えていきます。



9月1日
より

3階に急性期病棟オープン!



循環器内科 副院長
宮田 節也

この度、3階に循環器内科と脳神経外科混合の急性期病棟が新設されました。主に循環器疾患の患者さんに、より高度で精密な循環器医療を提供できるよう改装されています。

循環器内科では、心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術(PCI)・ペースメーカー治療などを行っています。今回の改装では新たに、CCUと呼ばれる循環器重症患者さん用の生命維持監視モニターや心臓補助装置を配備できる特別な病室もできました。患者さん・ご家族が安心し、安全に治療を受けていただけるよう、急性期治療に必要な設備を整えています。

入院から退院後の外来受診まで、患者さんひとりひとりに添ったケアを行えるよう、今後もより一層専門性の高い医療を提供していきます。



3階病棟 看護科長
室 千恵美

医師紹介

～新しく赴任した先生を紹介します!～

リハビリテーション科 副院長

としま まさひこ
戸島 雅彦先生

● 血液型 A型

● 出身地 浦河町

● 患者さんへのメッセージ

脳神経外科20年、リハビリテーション科12年程のキャリアです。地域医療連携やシステム開発にも関わってきました。こちらでは一般病棟の入院リハビリの他、地域の在宅リハビリ(外来、通所、訪問)や健康増進にも取り組みたいと考えています。よろしくお願いいたします。



脳神経外科

はしもと ゆうじ
橋本 祐治先生

● 血液型 A型

● 出身地 札幌市

● 患者さんへのメッセージ

今年の4月より勤務しています。診察を一つの出会いと捉え、一期一会の気持ちを心がけています。どうぞ宜しくお願い致します。



循環器内科

ふじい のりゆき
藤井 徳幸先生

● 血液型 O型

● 出身地 浦幌町

● 患者さんへのメッセージ

心臓病全般、大動脈・下肢血管などの動脈硬化疾患、高血圧・糖尿病などの生活習慣病などを幅広く診療します。狭心症や心筋梗塞に対するカテーテル治療も積極的に行っています。よろしくお願いいたします。



麻酔科

たかやま こうじ
高山 浩二先生

● 血液型 B型

● 出身地 秋田県

● 患者さんへのメッセージ

常勤麻酔科医として、5月1日に着任いたしました。それぞれの患者さんに応じた、安全で苦痛のない麻酔を心がけて参ります。よろしくお願いいたします。



コラム「優先席」

同じ日本でも、それぞれの街のスタイルや慣習は個性的でその違いに困惑することがある。以前住んでいた仙台での、エスカレーターの並び方。幅が2人分の場合、JR仙台駅では東京式の左並び。しかし地下鉄に足を運ぶとなぜか関西式の右並びなのだ。さらに仙台の中心部で100年以上の歴史を持つ百貨店でも関西式の右並びが優性を占める。この慣習にならい私が仙台の人と同じように熟れてエスカレーターに乗れるようになるまで2年は要したのだろうか。仙台は大阪より東京の方が近いというのに不思議な慣習である。

実はここ札幌にも不思議な慣習がある。これに気がついていいるのはもしかすると私だけかもしれないので本当は書き明かしたくない。しかし、この掲載された原稿の前には満を持して仕上げたコラムの原稿があったのだが、悲しくも「書き直し!」の烙印を押されてしまった。既に小ネタも尽きたので、本当は秘密にしておきたい、私だけがずっと知っている札幌の不思議な慣習をお伝えしたい。

その札幌の不思議な慣習とは、地下鉄の優先席に対する皆

の態度である。優先席がガラッと空いていても、誰も座らない。多くの方がその前の吊革に掴まり普通に立っている。東京、大阪、かつて住んでいた仙台も、とくにハンディを持たなくとも空席ならば、とりあえず席を占めることが多い。私も仙台でそのようにしていた。もちろん妊婦さんや高齢者の方が乗車してくれば、席を譲る気持ちで座っている。ところが、ここ札幌では様子が全く異なる。この席への皆の眼差しは、強く潔癖を抱く思春期の感性のように鋭い。ハンディを持たない人が座ろうものならーと、こんな期待と興味にそそられているのは私だけだろうか。

(S.K)

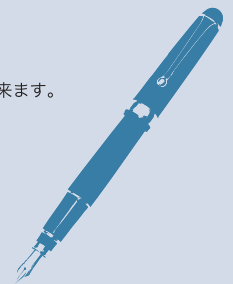


外来担当医表 平成26年10月1日(水)から

脳神経外科	月	火	水	木	金	土
午前	大 坊	橋 本	大 坊	本 田	大 坊	札幌医大出張医
	岡 (札幌医大)	野 中	米 増	佐々木 (札幌医大)	本 田	
	安 藤					
午後	野 中	大 坊	高 橋	高 橋	野 中	
	岡 (札幌医大)	恩 田	本 田	佐々木	橋 本	
	齋 藤 (1・3週)					
循環器内科	月	火	水	木	金	土
午前	宮 田	藤 井	宮 田		宮 田	宮 田 (1・3週)
午後	宮 田	手稲溪仁会出張医	藤 井	藤 井	宮 田	藤 井 (2・4週)
リハビリテーション科	月	火	水	木	金	土
午前			戸 島			
午後	戸 島			戸 島		

都合により、担当医は変更になることがあります。ご了承下さい。

理 念	患者様に理解・信頼され、医師にも信頼される病院を目指します。
指 針	1. 医の倫理を重んじ、安全かつ高水準で、患者様のための最善の医療を提供します。 2. 患者様のプライバシーを守り、必要な説明責任を果たします。また、ご自身の医療について知る権利・選択する権利・決定する権利を最大限尊重します。 3. 職員は自らの知識・技術・マナーの向上を図り、医療人として自覚し資質を高めるよう研鑽します。 4. 地域住民の健康管理を通して予防医療を行い、地域医療に貢献します。
患 者 様 の 権 利	1. 平等かつ公平に医療を受ける権利 病気、性別、年齢、社会的立場、宗教などにかかわらず、どなたでも平等に適切な医療を受けることが出来ます。 2. 良質な医療を受ける権利 安全で最善の医療を効率的に受けることが出来ます。 3. 十分な説明と情報提供を受ける権利 病気、検査、治療、危険性、他の治療方法や見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける事が出来ます。 4. 自己決定の権利 十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意志で選択・拒否することが出来ます。 5. 選択の自由の権利 医療機関を自由に選択・変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることが出来ます。 6. 個人情報を守られる権利 診療上得られた個人情報をご自身の承諾なしにみだりに、他人に漏らされることはありません。 7. 苦情を申し立てる権利 マナーや対応についてご意見がありましたら、意見箱及び、相談窓口を御利用下さい。



名称／特定医療法人 医翔会 札幌白石記念病院
 診療科目／脳神経外科・循環器内科・リハビリテーション科・麻酔科・放射線科
 住所／〒003-0026 札幌市白石区本通8丁目南1番10号
 電話／代表(011)863-5151 FAX／(011)863-5161 HPアドレス／<http://www.ssn-hp.jp/>